

小嶋亜創展

下手げての美



2015.11.28 SAT - 12.7 MON

GALLERY  
うつわノート

料金後納  
ゆうメール

## 小嶋亜創展 下手の美

二〇一五年十一月二十八日(土)～十二月七日(月) 会期中無休  
営業時間 十一時～十八時 作家在廊日 十二月二十八日(土)

長野県大田市で自給自足の暮らしを続ける小嶋亜創さんの個展。今回の副題は「下手の美」としました。下手とは、文字通り下手ものの意味ですが、「民藝」の元になった言葉でもあります。大正十五年に柳宗悦が越後タイムスに寄稿した「下手ものの美」には、上等品である「上手もの」に対する用語として使われています。それは民衆が用いる雑具であり、そこに無心の美が宿ると説いています。

小嶋さんの作る器には、この「下手の美」の概念が根底にあります。日々の暮らし方と繋がる造形性、気取らぬ実用性、健やかな価格付けなど、全てに一貫した思想が貫かれています。今回の個展では小嶋さんの考える「やちむん」の器をご覧頂けます。沖繩の焼き物の美しさを再発見したのは、やはり柳宗悦を始めとする民藝の創始者たちでした。それは、現代のやちむんブームとも繋がっています。

小嶋さんは、古典の「やちむん」のもつ大らかさと土着的な文様に惹かれ、今回の個展に臨むことになりました。かといって忠実な再現が目的ではなく、あくまでその根っこにある「下手の美」を捉えようとする試みです。焼き膚に拘り、太筆による大胆かつ作為を抜いた絵柄。それは沖繩から、さらに南洋の民陶まで広がる世界観に繋がることでしょう。この季節、恒例の第5回目となる小嶋亜創さんの展示会です。どうぞ庭の紅葉と共にお楽しみ頂ければ幸いです。

店主

- 1978年 京都で生まれ、長野県上田市で育つ
- 1997年 百姓を目指し全国の農家に居候しながら旅をする
- 2000年 独学で作陶を始める
- 2004年 長野県大田市に移住し半農半陶の生活を営む
- 2015年 現在、同地にて百姓と陶芸の日々を過ごす

### ギャラリー うつわノート

埼玉県川越市小仙波町1-7-6  
TEL 049-298-8715  
MAIL utsuwanote@gmail.com



電車：川越駅(東武東上線・JR)より徒歩25分  
本川越駅(西武新宿線)より徒歩20分  
バス：駅東口3番乗場 [小江戸名所めぐり]～[喜多院前]  
駅西口2番乗場 [小江戸巡回バス]～[喜多院]  
車：ギャラリー専用の新駐車場は北側(6～8番)

